

企業の完成

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

企業が社会市民として社会へ参加し、世界基準における自己構築を実現することは、企業の完成を得るのである。

これらは財務内容と企業の経営環境が、世界との対等性を構築できるとき、時代性における製品力とともに、企業の明らかな強さを与えるのである。

また社会責任と共に、企業が自己を有することは、社会との共生という優れた現実を与えるのである。

これらは新しい市場のルールにおいて、その創造性は、開発デザインにおける世界における独自性を提案し、これらはグローバルスタンダードにおける企業の立脚を得るのである。

企業哲学は、優れた企業を与えるものである。これらは底辺から先端性まで、自己の哲学を要求し、これら企業理念が企業を与えるのである。

競争と市場原理において、企業はその MBA において自己を有する必要がある。これらはビジネスにおける学習が、優れた企業環境を可能とできるためである。

製品と価格における優位性は、グローバル市場において、その参加を可能とできるのである。これらは数量販売を有し、企業の優れた効率性は、高い利益性を可能とできるのである。

時代を牽引するためには、独自性を求められる。独自性は、その理解の積み上げなのである。そのため、企業努力がこれを可能とするのである。

社員の意欲は全ての源泉である。これらは創造性と社員複利の世界基準における提供を要求するものである。

可能性への挑戦は、唯一未来への参加である。世界のトップ基準の受け入れは、それらへの理解を要求するのである。

これらは企業の挑戦であり、完成は必ず到達なのである。